

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 29日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者

住 所 埼玉県朝霞市西原1-1-1

氏 名 株式会社武蔵野

代表取締役社長 安田 信行

電話番号 0538-43-2411

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社武蔵野東海工場
事業場の所在地	静岡県袋井市久能2497-6
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	食料品製造業
② 事業の規模	745,000万円（令和3年度総売上高）
③ 従業員数	515名（正社員 65名、パート 450名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	別紙3参照			
	排出量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ ゴミ重量計測⇒ゴミ発生の多い個所の特定⇒改善指導 ・ 食品ロス防止の為、ロスPJ活動 ・ 排水状態悪化による汚泥引き抜き回避の為、油処理指導				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	別紙3参照			
	排出量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 食品ロス問題の教育、指導 ・ ゴミ完全分別 ・ 排水良好状態保持の為の油処理見直し				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙1参照 破砕させる廃プラスチック類・金属くずは屋外に専用コンテナを設け保管し運搬・処理委託
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙1参照 動植物残渣・廃プラスチック類の分別し、飼料・肥料へのリサイクル

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	別紙3参照			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 自社での再生は行っていない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	別紙3参照			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も再生の予定はなし。				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	別紙3参照			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	別紙3参照			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

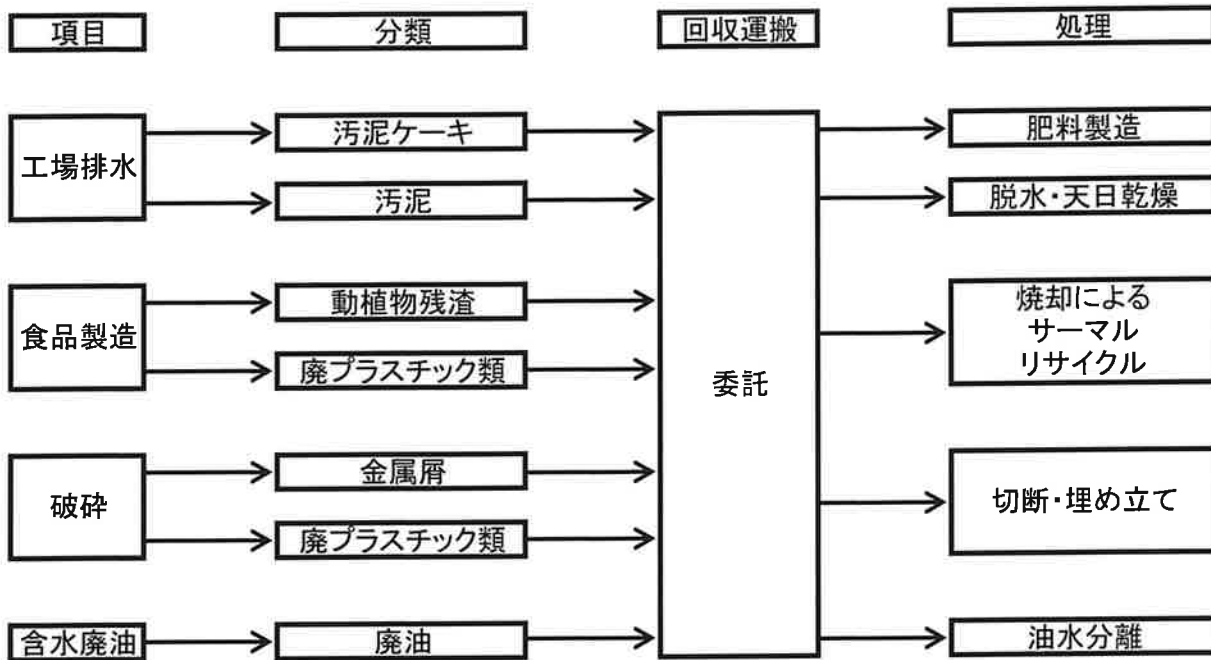
①現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	別紙3参照			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	別紙3参照			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自社での埋立等の処分はなし。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

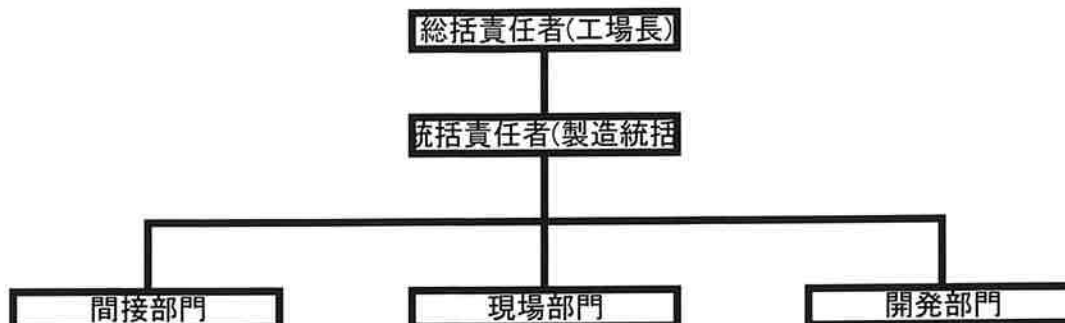
①現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	全処理委託量	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	全処理委託量	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
※事務処理欄					

産業廃棄物処理廃棄フロー(東海工場)



管理組織図(東海工場)



現場部門	炊飯部署
	調理部署
	加工部署

間接部門	総務部署
	品質管理部署
	電算部署
	生産管理部署
	資材部署
	物流部署
	エンジニアリング部署
安全管理部	

開発部門	開発部署
------	------

		前年度(令和4年度)実績									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動物性残渣 廃プラスチック	混合廃棄物			廃電池類	動物性残渣 (汚泥)	廃油			
			水銀使用廃棄物	金属くず							
排出量	869.0 t	15.0 t	0.01 t		13.0 t	0.4 t	435.00 t	12.0 t			
優良認定処理業者への 処理委託量					13.0 t		221.0 t	12.0 t			
再生利用業者への 処理委託量			0.01 t		13.0 t	0.4 t	435.00 t				
認定熱処理回収業者への 処理委託量											
認定熱処理回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	833.0 t	15.0 t									
(これまでに実施した取り組み)											
食品残渣及び廃プラスチックのゴミ袋を色分けし、ゴミ庫内の棚で分別して置く様にしています ゴミの計量・記録を行い分析する事で、作り過ぎ等の削減を行っております											

①現状

		目標									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動物性残渣 廃プラスチック	混合廃棄物			廃電池類	動物性残渣 (汚泥)	廃油			
			水銀使用廃棄物	金属くず							
排出量	849.0 t	13.0 t	0.01 t		11.0 t	0.2 t	415.0 t	10.0 t			
優良認定処理業者への 処理委託量					11.0 t			10.0 t			
再生利用業者への 処理委託量					11.0 t	0.2 t	415.0 t				
認定熱処理回収業者への 処理委託量			0.01 t		11.0 t	0.2 t	415.0 t				
認定熱処理回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	849.0 t	13.0 t									
(これまでに実施した取り組み)											
シーレックスシートの使い過ぎを無くし、廃プラスチックの排出量を削減致します 調理機器にて刃の交換や焼成状態を改善する事で、くず肉や焼成状態の悪い廃棄品を削減致します											

②計画